



2026年 1月 7日  
第111号

# JR東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 梶田 優一  
編集 情宣 担当  
ホームページ



<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



## 年末年始期間のご利用状況は絶好調！



## コロナ禍前を超えた昨年の過去最多を上回る！

年末年始期間中〔2025年12月26日（金）～2026年1月4日（日）10日間〕のご利用状況が公表されました。主要16区間計では、前年同日比較で対前年を上回り**105%**を達成しました。

要員不足の中、年末年始期間中は帰省やインバウンド需要の高まりに対し、ご案内・販売体制・輸送力の確保に努めました。過去最高の働き度の中での対応となり、踏切事故によるダイヤ乱れ等多くの苦労がありましたが、職場の努力により安全輸送の確保とお客さま対応に努めた結果、コロナ禍前を上回った昨年の**過去最多記録を更新しました。**



年末年始期間のご利用状況		
	利用者数	前年度比
新幹線	481.7万人	104.4%
在来線	98.0万人	106.4%
合計	579.7万人	<b>104.7%</b>

コロナ禍で、ある経営幹部は「コロナ前には戻らない」と断言していましたが、完全に戻ったと言えます。当時、定期昇給のカットや期末手当の抑制など社員は苦労を強いられました。しかし私たちの賃金は、「定期昇給カット分は補填されていない」「期末手当は年間6ヶ月に達しない」というように、コロナ前の水準に戻っていません。

会社の低額回答に対して、満足している社友会ではコロナ前の水準に戻すことはできません。コロナ前の水準に戻すには、労働者が団結するしか道はありません。

**支払い能力はある！**

客観的に足元の業績を見ても順調そのもの！

**過去最高の働き度だ！**

過去最低の社員数で過去最高の実績を生み出している！

**過去最高のベアで社員の奮闘に報いるべきだ！**

実質賃金が上がらなければ景気の好循環は生み出せない！

## JR東労組に結集して、2026JR総連春闘をたたかい抜こう！